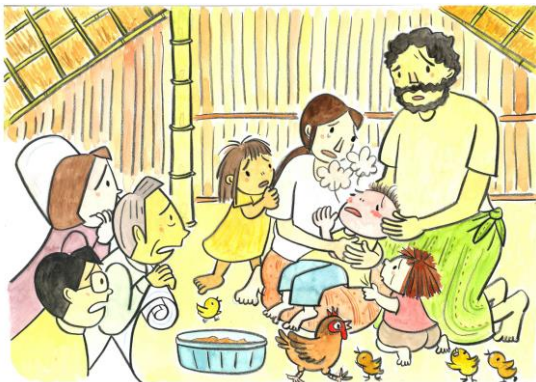




表紙

* 表紙 「使用済み切手を集めよう！」(場面1)
 こんにちは。日本キリスト教海外医療協力会です。
 長い名前でしょう？
 J・O・C・S っていう短い名前で呼んでくださいね。
 JOCS では使い終わった切手を集めています。
 どうしてそんなものを集めているんだろう？
 何の役に立つんだろう？
 そのたねあかしのはじまりはじまりー！



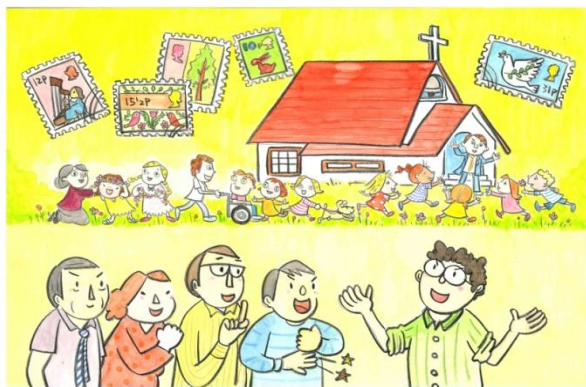
場面 2

* 場面2
 (アジアの場面だけが見えるように、途中まで抜く)
 日本が戦争に負けて 15 年後の 1960 年ことです。
 人々の心には、ようやく平和が戻って来ました。
 でも、アジアの国々は、まだまだ貧しくて、
 お医者さんも少なかったのです。
 人々は、病気にかかっても、
 なかなかお医者さんに診てもらうことができませんでした。
 (間)
 アジアの子ども 「苦しいよ。苦しいよ。お母ちゃん」
 アジアのお母さん「ああ、こんなとき、病院が近くにあったら すぐに連れて行けるのに...」
 (全部抜く)
 医師A「このままじゃいけない！」
 医師B「僕たち医者が何かできないかな」



場面 3

* 場面3
 そこで、日本のクリスチャンのお医者さんたちは、
 JOCS というグループを作りました。
 そして、日本のお医者さんや看護師さんたちに、
 アジアの国に応援に行って貰おうと考えました。
 でも、応援に行つて貰うためには、
 診療に使うものを揃えなくてはなりません。
 飛行機代や生活費だって必要です。
 JOCS の仲間たちはたくさんの人たちに一生懸命
 このことをお話ししました。
 医師 A「アジアの人たちを助けるためにお金をください！」
 でも、必要なお金は、なかなか集まりません。
 医師 B「どうしたらいいだろう」
 みんな「う～ん」



場面 4

* 場面4

医師C「そうだ！（手を打つ音）」

使用済み切手を集めるのはどうだろう」

医師 D「使用済みって使い終わった切手のこと？」

医師 C「そうだよ。」

使用済み切手集めがはやっている国があつてね、

それを売ったお金で、

教会などでは困っている人たちを助けているんだよ」

医師 D「そうか！ JOCS もその真似をすれば良いんだ！」

日本中から、少しずつ使用済み切手が集まりはじめました。

1964 年、東京でオリンピックが行なわれた年のことでした。



場面 5

* 場面5

そのころ、岩村昇というお医者さんが

JOCS からネパールに送り出されていました。

ネパールには結核という病気にかかる人たちが

たくさんいました。

(間)

岩村先生「治しても治しても結核に苦しむ人は減らないね。」

治すことも大事だけれど、かからないように予防することも同じくらい大事だね」

奥さま「そうですね。予防注射をすれば、結核にかかる人を 減らすことができますね」

(間)

岩村先生は、結核を予防する BCG というワクチンを

人々に注射しようと思いました。

でも、たくさんのお金が必要です。

でも、たくさんのお金が必要です。

岩村先生「ようし！」



場面 6

* 場面6

岩村先生は、使用済み切手をもっと集めてくださいという

お願いのために、自分で日本全国を廻ることにしました。

BCG のワクチン一本分は、使用済み切手 200 枚分と

同じ値段でした。

(間)

岩村先生「みなさーん、使用済み切手 200 枚で

BCG ワクチン一本が買えるんです。

使用済み切手をもっと集めてくださーい！」

(間)

この話を聞いた人々から

たくさんのお金が集まるようになりました。

おかげで岩村先生は、BCG ワクチンを

たくさん買うことが出来たのです。



場面 7

* 場面7

岩村先生「ネパールのみなさん、
結核にかからないための注射ですよ。
集まって下さいー！」

BCG ワクチンを持ってネパールに帰った
岩村先生の予防注射です。
長い長い列ができました。

(間)

こうして結核にかかるネパールの人は
ぐんぐん少なくなっていきました。

使用済み切手を集めてできたお金は、
こうしてネパールの人が結核にかからないために、
役に立ったのです。

現在は、ワクチンを買って注射することは
他の団体がやってくれることになり、
JOCS の活動は、お医者さんたちを送り出すことなどが
中心になりました。



場面 8

* 場面8

ところで、使い終わった切手が
どうしてお金になるのでしょうか？
それはね、切手を集めることが好きな人が
買ってくれるからなのです。

切手を集めることが趣味の、
切手コレクターさんです。

それに、「消印」というハンコが好きで、
集めている人もいます。

みなさんがポストに入れた封筒やはがきは、
郵便局に集められて、
切手の上に、消印と呼ばれる「ハンコ」を押してもらいます。
<大きな声で> ポン！

はがき「見て見てー！ ぼく、こんな素敵な消印、
押して貰っちゃったー！」

封筒「わたしも！

ほら、消印にはちゃんと日付や場所も入ってるのよ」

(間)

コレクターさんたちが、買ってくれることで、
使用済み切手はお金になるのです。



場面 9

* 場面9

それでは、ここで切手クイズ。<拍手>

第1問！

切手に押されるハンコ、消印。

大抵は切手の端っこに押されるんだけど、

時々、切手の真ん中に押される消印があります。

これをなんというでしょう？

1. おひさま
2. 満月
3. たんぽぽ

(間)

こたえは？ (間) 2番の満月！

ほら、まんまるのお月様みたいでしょ？

この満月切手がコレクターさんに人気があるんですよ。



場面 10

* 場面10

続いて、第2問！

1964年から50年近く続いている使用済み切手運動。

この間に集まってきた切手は全部で何枚くらい？

1. 1億枚以上
2. 10億枚以上
3. 100億枚以上

(間)

こたえは？ (間) 3番の100億枚以上！

100枚置くんじゃないよ。100億枚だよ。

すごい枚数で目が回っちゃうね。



場面 11

* 場面11

さて、毎年何十トンものたくさんの使用済み切手が

集まっていた JOCS。

でも近頃、使用済み切手は前ほど集まらなくなってきました。

なぜかという、切手があまり使われないように

なってきたからです。

みなさんのお家でもメールやファックスや宅配便などの活躍で、

切手を貼った手紙や小包を送ることが

少なくなっているでしょう？

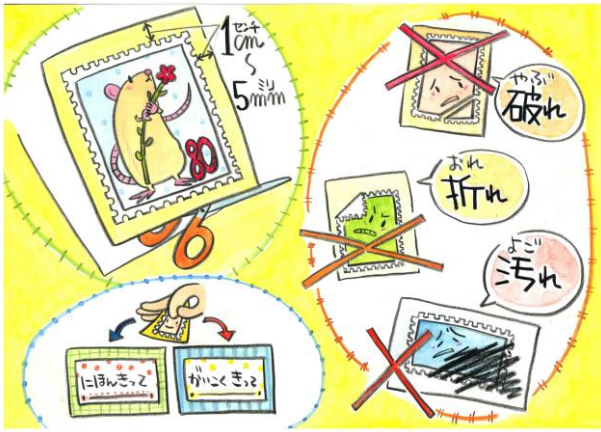
でも逆に、切手が欲しいという人は、とても増えています。

現在は使用済み切手の「キロボックス」が大人気。

キロボックスは 7.5 キログラムの

使用済み切手が詰まった箱で、

切手の好きな方には宝の箱なのです。



場面 12

*場面12

JOCS がなぜ使用済み切手を集めているのか、
 わかって貰えましたか？
 使い終わった切手が、また集まって、
 人々の健康を守るために活躍するなんてすごいでしょ？
 使用済み切手はまだまだ足りません。
 みなさんも、お家に届く切手を、
 はさみで切り取って集めてください。
 集め方はとっても簡単。
 手紙やはがきの切手の周りを5ミリから1センチくらい残して切り取っ
 てください。
 記念切手や珍しい切手でなくても、どんな切手でも大丈夫。
 でも、破れたり折れたり汚れたりしているものは
 残念ながら、使えません。
 貼ってある紙からはがさずにそのまま集めてください。
 たくさん集まったら、日本のものと海外のものに分けて、JOCS に
 送ってくださいね。



場面 13

*場面13

お家の方やお友達にもこのお話を教えてあげて、
 一緒に集めて貰ってください。
 ひとりのちからは小さくても、みんなのちからを合わせれ
 ば、大きなちからになりますよ。
 お家にひとつずつ、
 幼稚園(保育園、学校、教会...)にもひとつずつ、
 使用済み切手を集める箱を置きましょう。
 使い終わった切手の周りをはさみで切って送る、
 それだけのことが、
 アジアやアフリカの人々の健康を守るお手伝いになります。
 一緒に使用済み切手を集めていきましょうね。
 どうぞよろしくお願ひします。